



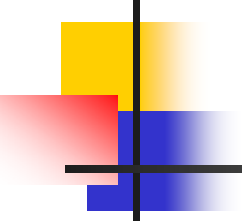
# 論文スケルトン

研究リテラシー入門シリーズ：研究の世界B



京都大学高等教育研究開発推進センター  
情報メディア教育開発部門  
小山田耕二

研究リテラシー入門シリーズ



---

# 論文スケルトンとは

論文の骨格をサポートセンテンスのみを使って構成したもの



## はじめに

---

- 日本におけるさまざまな組織において官僚的であればあるほどその組織の業績は低いものになっている傾向があることを明らかにする。
  - 組織の業績の指標を調査
  - 組織の代表者へのアンケート調査を実施

[http://www.kobe-mba.net/eureka/2003/030725/life/syllabus/survey\\_research.pdf](http://www.kobe-mba.net/eureka/2003/030725/life/syllabus/survey_research.pdf)



## 背景

---

- さまざまな組織における観察や先行研究のレビューによって官僚制組織は非効率となる可能性がある。
  - 官僚制組織とは・・・
  - 組織の効率性とは・・・
- 地方自治体でもフラット制組織形態の導入がすすんでいる。
  - フラット制とは・・・
  - 業務の複雑化、人員削減、ポスト不足などの状況下で、必要性が・・・



## 関連研究

---

- マートンは、官僚制のさまざまな問題点が含まれていることを明らかにした。
  - 形式主義・事なかれ主義が・・・
  - セクショナリズムが・・・
  - 上下関係の階層秩序による弊害・・・



# 実験方法

---

- 先行研究を手がかりにして、官僚制組織・非効率という非変数概念を変数概念に変換した。
  - 官僚制組織とは、・・・
  - 非効率とは・・・
- 職場組織代表者を対象として組織の特徴に関するアンケート調査を実施した。
  - アンケート対象となった組織代表者の特質は・・・
  - アンケートの項目は・・・



## 実験結果

---

- 回帰分析の結果すべてのパラメタが負の有意な値を示した。
  - 組織成果は、組織の集権化・公式化・専門化と・・・



# 考察

---

- 組織の官僚制の負の側面が明らかになった。
  - アンケート調査をもとにモデル化し・・・
- 官僚制のもつメリットも同時に調査すべきであった。
  - 官僚制は、そもそも・・・
  - 官僚制のメリットを取り入れた次世代組織のあり方とは・・・





## 結論

---

- 組織構造の集権化・公式化・専門化の程度が高くなるほど、組織成果はより低くなる。
  - 組織成果の内容に応じた組織構造のあり方・・・
  - 文化的側面から見た組織構造の進化・・・